

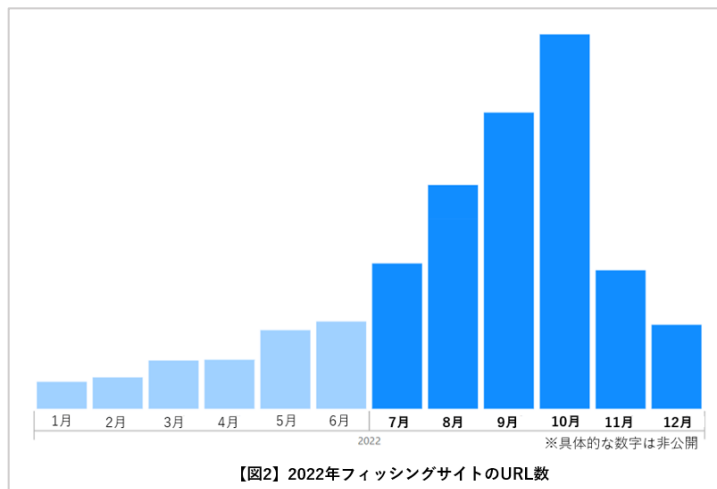
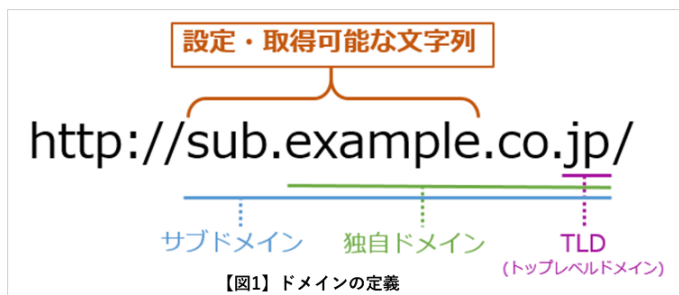
PRESS RELEASE

【セキュリティレポート】2022 年下半期フィッシングサイトのドメインを独自に分析 フィッシングサイト URL 数は上半期比約 4 倍、急増要因の特徴的なパターン発見 ～フィッシングサイトの TLD1 位は「top」～

情報セキュリティメーカーのデジタルアーツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具 登志夫、以下 デジタルアーツ、証券コード 2326)は、2022 年下半期に収集した国内外のフィッシングサイト URL のドメインを集計したレポートを公開したことを発表します。

フィッシングサイト URL のドメインを集計、フィッシングサイト URL 総数は上半期比約 4 倍

デジタルアーツでは、日々さまざまな Web サイトについて調査・収集を行っております。今回、デジタルアーツは、2022 年下半期(7～12 月)に確認した国内外のフィッシングサイト URL のドメインを集計しました(IP アドレス形式の URL は除く)。なお、本レポートで扱うドメインについては、【図 1】のように定義しています。2022 年下半期のフィッシングサイト URL 総数は、上半期と比較すると約 4 倍に増加しました。月別でみると最多は 10 月で、1 カ月だけで上半期の総数を超えています。



特徴的なパターンを持つ大量のフィッシング URL を観測

2022 年下半期のフィッシングサイトの URL およびドメインには、特徴的なパターンを持つクラスター(群)がありました。

- ・サブドメイン文字列は、文字数が多く、「www.」で始まり、そのあとには「aupay,visa,myjcb,saizon」などといった正規サイトで使われる文字を数文字だけ使ったランダムな文字が続く
- ・TLD(トップレベルドメイン)には「top」を使用したものが非常に多く、他にも「icu,co.shop」などの TLD が使われた
- ・URL のパス部分には「/page1.php」を用いる
- ・「サブドメイン文字列」×「独自ドメイン」のように掛け合わせた組み合わせで URL を大量に生成しているようなもの(「サブドメイン・文字列が同一で、独自ドメインが異なる」、逆に「サブドメインが異なり、独自ドメインが同じ」というパターン)といった特徴が見受けられた

このクラスターが下半期フィッシングサイト URL 総数のおよそ 7 割を占めていました。同一のグループによって、あるいは同一のツールを用いて、大量に機械的に作成されていた可能性があります。これが 2022 年下半期のフィッシング URL 数が急増した要因と考えられます。

例
 www.au-paacey.auecsaaomceoy.acebmv.top/AU/page1.php
 www.viseeseosieeocrcrai.cvsescieosocenaaseoceeuioccesoesoc.ahre.co/uWBRvZ8quj/page1.php
 www.myjcbbevivcsowisuv.eanisgiosm.odujie.za.com/uWBRvZ8quj/page1.php
 www.saaaisacseoe.saccsecoiaas.10-0uuyIvdpatiqzcrok.shop/k7OIMyJhEU/page1.php

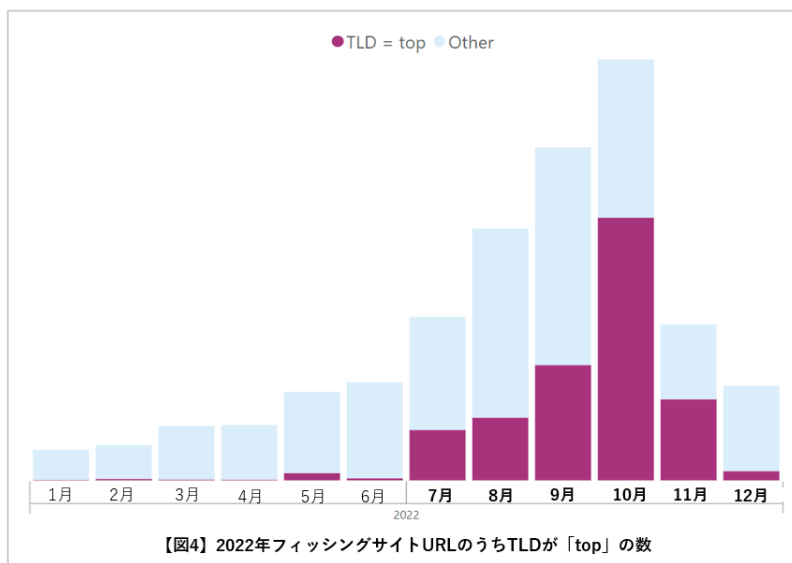
サブドメイン文字列が同一で、独自ドメインが異なるパターン
www.saaccesaicccrsoorma.seieascaacirsoocinaoeaosesonseosiren.adorui.top/k7OIMyJhEU/page1.php
www.saaccesaicccrsoorma.seieascaacirsoocinaoeaosesonseosiren.0h539n.icu/k7OIMyJhEU/page1.php
www.saaccesaicccrsoorma.seieascaacirsoocinaoeaosesonseosiren.07ygvz.shop/k7OIMyJhEU/page1.php
www.saaccesaicccrsoorma.seieascaacirsoocinaoeaosesonseosiren.gzj5011.xyz/k7OIMyJhEU/page1.php
www.saaccesaicccrsoorma.seieascaacirsoocinaoeaosesonseosiren.3nm.tech/k7OIMyJhEU/page1.php
www.saaccesaicccrsoorma.seieascaacirsoocinaoeaosesonseosiren.metatv.website/k7OIMyJhEU/page1.php
www.saaccesaicccrsoorma.seieascaacirsoocinaoeaosesonseosiren.fqcmlink.site/k7OIMyJhEU/page1.php
www.saaccesaicccrsoorma.seieascaacirsoocinaoeaosesonseosiren.xtstlink.online/k7OIMyJhEU/page1.php

サブドメイン文字列が異なり、独自ドメインが同一のパターン
 www.saacaceescaivcsearirincr.soreaacsieosnaiciaoeaosesonseosir.adorui.top/k7OIMyJhEU/page1.php
 www.saacaceessaivcseaririscronor.aseaiecsseascioconaaosesonseiren.adorui.top/k7OIMyJhEU/page1.php
 www.saacacesseavcseaririocrn.orsaeaciesseacocinaoesesonseosen.adorui.top/k7OIMyJhEU/page1.php
 www.saacacesseavcseaririscronor.aseaiecssaocionoaoosesonseoren.adorui.top/k7OIMyJhEU/page1.php
 www.saaccseaiccairscronor.aseaiecssaocionoaoosesonseosiren.adorui.top/k7OIMyJhEU/page1.php
 www.vaicaceessaivcseariricrasoria.viessvaaciraoccvraoeaosesonseosiren.adorui.top/k7OIMyJhEU/page1.php
 www.vaicaceessaivcseaririocrsior.avisievseaacicovsaoseoesosiren.adorui.top/k7OIMyJhEU/page1.php
 www.vaicacevscaivcaeaririicr.voriasvaiecsvasciiooaoosesonseoren.adorui.top/k7OIMyJhEU/page1.php

【図3】フィッシングサイトURL例

フィッシングサイトのTLD（トップレベルドメイン）では「top」が最多

フィッシングサイトのTLDを集計したところ、「top」が最も多く、「top」が含まれる下半期のURL数は上半期比で約45倍となりました。上半期ではあまり多くなかったものの、下半期の9月から10月にかけて大量に観測しました。上半期、下半期それぞれのURL総数を100%としたシェアで見ると、「top」のシェアは上半期3.57%に対して下半期は40.95%となっています。



2022年下半期はフィッシングサイトURLのボリュームが多い結果となりました。情報処理推進機構(IPA)が発表した「情報セキュリティ10大脅威2023」*のランキングでは、「フィッシングによる個人情報等の詐取」が2022年と同様に個人編1位にランクインしており、今後も万全な対策が必要です。

▶デジタルアーツのi-FILTERはフィッシングサイトのURLをブロック

デジタルアーツでは日々さまざまな情報をもとにデータの収集を行っています。「i-FILTER」Ver.10では、フィッシングサイトURLはフィルターデータベースへと迅速に配信され、[フィッシング詐欺]や[迷惑メールリンク]や[違法ソフト・反社会行為]カテゴリにてブロック可能です。またフィルターデータベースに反映されていないURLについても「ホワイト運用」を行うことで、デジタルアーツが安全を確認したURLにのみアクセスを許可し未知のフィッシングサイトや悪性URLをブロックすることができます。さらに「クレデンシャルプロテクション」機能では、正規のサイトと判別が困難な改ざんサイトに設置されたフィッシングサイトであっても、ユーザーがID・パスワードを送信しようとした際にこれをブロックすることが可能です。

<https://www.daj.jp/bs/i-filter/>

▶2022 年下半期フィッシングサイト ドメイン集計のレポートはこちら

以下、弊社コーポレートサイト上にて公開しております。

セキュリティレポート https://www.daj.jp/security_reports/31/

※ 情報処理推進機構 (IPA)「情報セキュリティ 10 大脅威 2023」

<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2023.html>

デジタルアーツ株式会社 概要

Web、メール、ファイルなどのセキュリティソフトウェアの提供を核に事業展開する情報セキュリティメーカーです。

1995 年の創業以来、「より便利な、より快適な、より安全なインターネットライフに貢献していく」を企業理念とし、有害情報の閲覧を制限する Web フィルタリングソフトを開発、以来企業・公共・家庭向けに情報セキュリティ製品を提供しております。

東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエア ウエストタワー14F ▶URL: <https://www.daj.jp/>

<本リリースに関するお問い合わせ>

デジタルアーツ株式会社 広報担当 松岡 TEL : 080-8163-0311 / E-mail : press@daj.co.jp

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う在宅勤務実施中のため、お電話でのお問い合わせは上記とさせていただきます

※ デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、i-FILTER Anti-Virus & Sandbox、i-FILTER@Cloud Anti-Virus & Sandbox、i-FILTER@Cloud D アラート発信レポートサービス、info board、Active Rating System、D-SPA、Anti-Virus & Sandbox for D-SPA、NET FILTER、SP-Cache、White Web、ZBRAIN、クレデンシャルプロテクション、ホワイト運用、m-FILTER、m-FILTER MailFilter、m-FILTER Archive、m-FILTER Anti-Spam、m-FILTER Anti-Virus & Sandbox、m-FILTER@Cloud Anti-Virus & Sandbox、m-FILTER@Cloud D アラート発信レポートサービス、m-FILTER File Scan、Mail Detox、m-FILTER EdgeMTA、EdgeMTA、FinalCode、i-フィルター、DigitalArts@Cloud、Desk@Cloud、Desk、D アラートおよび D コンテンツその他の弊社・弊社製品関連の各種名称・ロゴ・アイコン・デザイン等はデジタルアーツ株式会社の登録商標または商標です。

※ その他、上に記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。